

統合分野

授業科目	災害看護と看護管理
開講時期	3学年後期
単位数	1
時間数	15
担当講師	帯広協会病院看護部長・看護師
実務経験者	○
科目目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護管理についての基礎的知識を習得し組織の中での看護師の役割を理解できる。 2. 災害医療・災害看護に関する基礎的知識を習得できる。 3. 国際社会における保健医療福祉の実情を理解国際協力について考えることができる。
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護サービスのマネジメント <ol style="list-style-type: none"> 1) 看護におけるマネジメント 2. 医療看護の質保証 <ol style="list-style-type: none"> 1) 医療・看護の質と指標 2) 病院機能評価 3) 医療・看護の標準化とクリニカルパス 4) 看護業務基準・看護手順 5) 看護制度・看護提供システム 3. 保健医療の機能分化と連携 <ol style="list-style-type: none"> 1) 医療計画 2) 継続看護・入退院調整 4. 人材育成・活用 <ol style="list-style-type: none"> 1) 看護師等の確保・就業継続・看護師等の届出制度 2) 看護師等の労働安全衛生 5. 看護政策と行政 <ol style="list-style-type: none"> 1) 看護政策立案の過程 2) 看護行政の組織と役割 <ol style="list-style-type: none"> 2. 災害医療・災害看護 <ol style="list-style-type: none"> 1) 災害医療の基礎知識 2) トリアージの概念 3) トリアージ机上シミュレーション(演習) 4) 災害時の看護活動と被災者及び援助者心理と心のケア 5) 精神障害者に対する災害看護 応急処置
授業形式	講義・演習
テキスト	看護管理(医学書院) 災害看護(医学書院)
評価方法	記述試験(100点満点)

授業科目	看護研究
開講時期	2学年後期
単位数	1
時間数	30
担当講師	専任教員
科目目標	看護研究の意義と方法を理解し、基礎的な研究的態度を養う。
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護研究の意義と方法を理解できる。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 看護研究の意義 2) 看護における研究の目的 3) 看護研究と倫理的配慮 4) 研究の種類 5) 研究計画と文献検索 2. ケーススタディの方法について理解できる。 <ol style="list-style-type: none"> 1) ケーススタディとは 2) ケーススタディの計画と実施 3) 論文の構成 4) 論文の記述方法 5) 抄録の書き方 6) 発表の方法 看護研究発表見学 3. 実践した看護を振り返り、自己の看護を深めることができる <ol style="list-style-type: none"> 1) 個人指導による論文作成 2) ケーススタディの計画と実施
授業形式	講義・演習
テキスト	看護のためのわかりやすい ケーススタディの進め方(照林)
評価方法	ケーススタディ論文を期限までに提出し、評価表を基に評価する。 (100点満点)

統合分野

授業科目	医療安全
開講時期	2年次
単位数	1
時間数	15
担当講師	石川雅彦(地域医療安全推進センター) 齊藤奈緒美(地域医療安全推進センター) 専任教員
実務経験者	○
科目目標	医療安全についての知識を深め、専門職業人としての自覚を養う。
ねらい	1) 学生自身が事故を起こす存在であることを自覚し、自己の傾向や課題を認識できる。 2) 安全な看護を提供するための、状況に応じたコミュニケーション技術を身に着ける。 3) 事例の分析を通して、事故の原因と対策を考えることができる。
授業内容	1. RCAの概要と実際 1) オリエンテーション 2) 出来事流れ図作成 演習 3) なぜなぜ分析 演習 4) 対策立案 演習 5) 全体発表 6) RCA総括 2. MITTの概要と実際 1) オリエンテーション 2) シュミレーション① 映像資料によるシュミレーション体験 演習 3) グループ討議 演習 4) 全体発表 5) MITT総括 3. ハンドオフコミュニケーション 4. コミュニケーションエラー危険度チェック 5. レポート設題 1) 医療現場におけるコミュニケーションエについて自分の考えを述べる。 2) 成人看護学実習に臨む際、医療安全にむけて取り組む自己の目標を述べる。
授業形式	講義・演習
テキスト	RCA 根本原因分析法 実践マニュアル第2版
評価方法	レポート(100点満点)

授業科目	臨床看護の実践
開講時期	3年次後期
単位数	1
時間数	30
担当講師	専任教員
実務経験者	○
科目目標	1. 複数の患者の状況や優先度に合わせ、安全確保を意識した看護を実践するための基礎的能力を養う。 2. 臨床看護に近い、状況下での技術演習を通し、看護者としての倫理観を養う。
授業内容	1. 統合実習について理解できる 1) 看護管理とは 2) 師長・副師長業務 3) リーダー業務 4) キャリア開発 5) ケアの対価 6) 看護方式 2. 技術に伴う危険要因と事故防止 1) 与薬(注射・点滴・内服) 3. 複数患者の援助計画とは 4. 多重課題を考える 1) 援助の優先順位 5. 援助の優先順位を踏まえた計画の立案 6. 患者の状況に応じた診療の補助技術と日常生活援助技術 7. 実技試験 患者の状況に応じた診療の補助技術と日常生活援助技術
授業形式	講義・演習
テキスト	看護管理(医学書院)
評価方法	レポート・実技試験 (100点満点)